

大正五年四月六日第三種郵便物認可 大正十二年八月二十五日印刷納本(毎月一圓一日發行)

# 哲 學 研 究

第 八 卷 第 九 册  
第 十 九 號

大 正 二 十 二 年 九 月 一 日 發 行

佛陀と摩訶毘羅……………文學士 羽溪了諦

無 我 論……………文學士 手島文蒼

社 會 意 識……………文學士 銅直 勇

直接に與へられるもの……………文學博士 西田幾多郎

正誤及び補遺……………

京 都 帝 國 大 學 文 學 部  
京 都 哲 學 會

# 京都哲學會規則

第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス

第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、毎月一回研究会ヲ開ク

一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク

一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス

第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク

第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク

一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス

第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得

學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得

第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス

第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌、『哲學研究』ノ配付ヲ受ク

第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

### 書記

文學博士																				
植田	狩野	小西	高坂	澤村	高瀬	田邊	千葉	朝永	西田	野上	波多	深田	藤井	松本	務臺	米田	寶嚴	寶嚴	寶嚴	寶嚴
壽藏	直喜	重直	正顯	專太郎	武次郎	邊元	胤成	三十郎	幾多郎	俊夫	精一	康算	治郎	文三郎	理作	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎

前號ケーベル博士の逝去の正誤

頁行 誤 正

八九六一 殆んど二十年の間 二十一年の長い間

同 七 十年以上 十年近く

前號「シルラーが美學上の功績」

の補遺

三六頁九行以下八行に互る引用獨逸文の譯

「經驗は實は美のイデーを現しては居らぬ。若しくは尙分り易く云へば、吾々が普通に美と感じてゐる所のものは實は決して美と呼ぶるべきものではないのである。美とは經驗的概念ではなくして寧ろ一つの命令<sup>イムペラチフ</sup>である。美は確かに客觀的であるとは云へる、が併しそれは感性的理性的なる存在者に對して一つの必然的課題であるといふ意味に於てある。實際の經驗に於ては併し此課題は普

通遂行されずにしまふのを常とする。さうして或對象は如何に美であらうとも、吾々の先走りする悟性はそれを忽ちにして完全なる對象としてしまふ、或は吾々の先き走りする感性はそれを單なる快適なるものとしてしまふのである。吾々が美を美と感ずるか否かと云ふことは全然主觀的のことである、併し客觀的にはさうあるべき(さう感ずべき)なのである。」

寄贈書籍雜誌

哲學雜誌、丁酉論理講演集、心理研究、東洋哲學、教育研究、  
内外教育評論、學校教育、教育、教育時論、藥王樹、三田文學  
見眞、佛敎研究、光、異端者、日本心理學雜誌、講座

# 前 號 目 次

佛陀と摩訶毘羅……………	文學士	羽溪	了諦
シルラーが美學上の功績……………	文學博士	深田	康算
社會的正義について……………	文學博士	藤井	健治郎
ケーベル博士の逝去……………	文學博士	深田	康算

會 告

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込下度候
- 一、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學  
文學部 內  
京都哲學會  
振替口座大阪參〇六六番

註 文 規 定

- ◎ 會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
- ◎ 本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候
- ◎ 振替貯金にて御送金は(振替大阪三三九五番三九三一番東京三九三一番)内外出版株式會社宛に願上候
- ◎ 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- ◎ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定 價

冊	數	定	價	郵	稅
一冊	冊	金	四拾錢	一	錢
六冊	冊	金	貳圓四拾錢	不	受
十二冊	冊	金	四圓八拾錢	不	受

廣 告 料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十二年八月廿五日印刷納本  
大正十二年九月一日發行

第九十號 第八卷 第九冊

京都帝國大學文學部內

編輯者 京都哲學會

右代表者 寶 殿 方 夫

發行者 大谷仁兵衛

印刷者 村上勤兵衛

印刷所 内外出版株式會社印刷部

發 行 所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版株式會社

振替口座 大阪三三九五番 東京三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南  
出張所 京都市京橋區加賀町十番地  
販賣所 京都市神田區錦町一ノ一

(東京) 東京堂 東海堂 北隆館

賣捌所 (大阪) 盛文館 三誠堂

(神戸) 寶文館 川瀨書店  
(京都) 共盛社 大盛社

不許複製  
禁 轉 載

京都帝國大學 理學部講師 理學士 山本宣治新著

# 性教育

四六判約五百頁  
 バビリン美裝  
 定價貳圓八拾錢  
 送料貳拾錢

最新刊

因襲と獨斷に充滿した舊教育の徹底的顛覆——不合理不可能なる性的隱蔽主義の打破——智識的惡貨の濫費者たる性的賣文者の驅逐——而して新時代の自由と眞理を基礎とした性文化の黎明——其到來の爲に試みたる大膽小心なる實驗の報告——直譯受賣を脱却した對策の提案。

青年の爲には啓蒙による安心と解放による悦び——子を持つ親と教育者には無二の指針——一息に讀下さる程面白く、しかも長く座右に具ふべき參考書。

京都市西洞院 內外出版株式會社 振替 九五五 大阪

(大正五年四月六日)大正十二年八月二十五日印 刷 本  
 (第三師部郵便認可)大正十二年九月一日發行(每月一日發行)  
 哲學研究第九十號 定價金四十錢 郵 稅